

2014年9月期連結決算

2014年10月31日

MRI 株式会社三菱総合研究所

1. 2014年9月期決算

2. 2015年9月期業績予想

2014年9月期連結決算のまとめ

売上高：874億円 前期比+62億円(+7.7%)

- 官公庁向け大型政策執行支援案件が売上増に寄与
- 金融業向けシステム開発、アウトソーシングサービス堅調

営業利益：60億円 前期比+7億円(+13.2%)

- 増収に伴い、販管費増加をカバーし、増益
- 退職給付費用の特殊要因も利益押し上げに寄与

当期純利益：34億円 前期比+5億円(+18.0%)

- 営業外損益改善が加わり、過去最高を達成

期初計画を上回る結果で、期末配当を5円引き上げ

2014年9月期連結決算

(百万円)

	13年9月期	14年9月期	対前期比		公表予想値 (2013/10/31)	公表予想差
			増減額	増減率		
売上高	81,127	87,400	+6,272	+7.7%	86,800	+600
売上原価	64,068	68,661	+4,593	+7.2%	—	—
売上総利益	17,059	18,738	+1,679	+9.8%	—	—
売上総利益率	21.0%	21.4%	+0.4P		—	
販売費及び一般管理費	11,688	12,659	+970	+8.3%	—	—
営業利益	5,370	6,079	+708	+13.2%	5,500	+579
営業利益率	6.6%	7.0%	+0.4P		6.3%	+0.7P

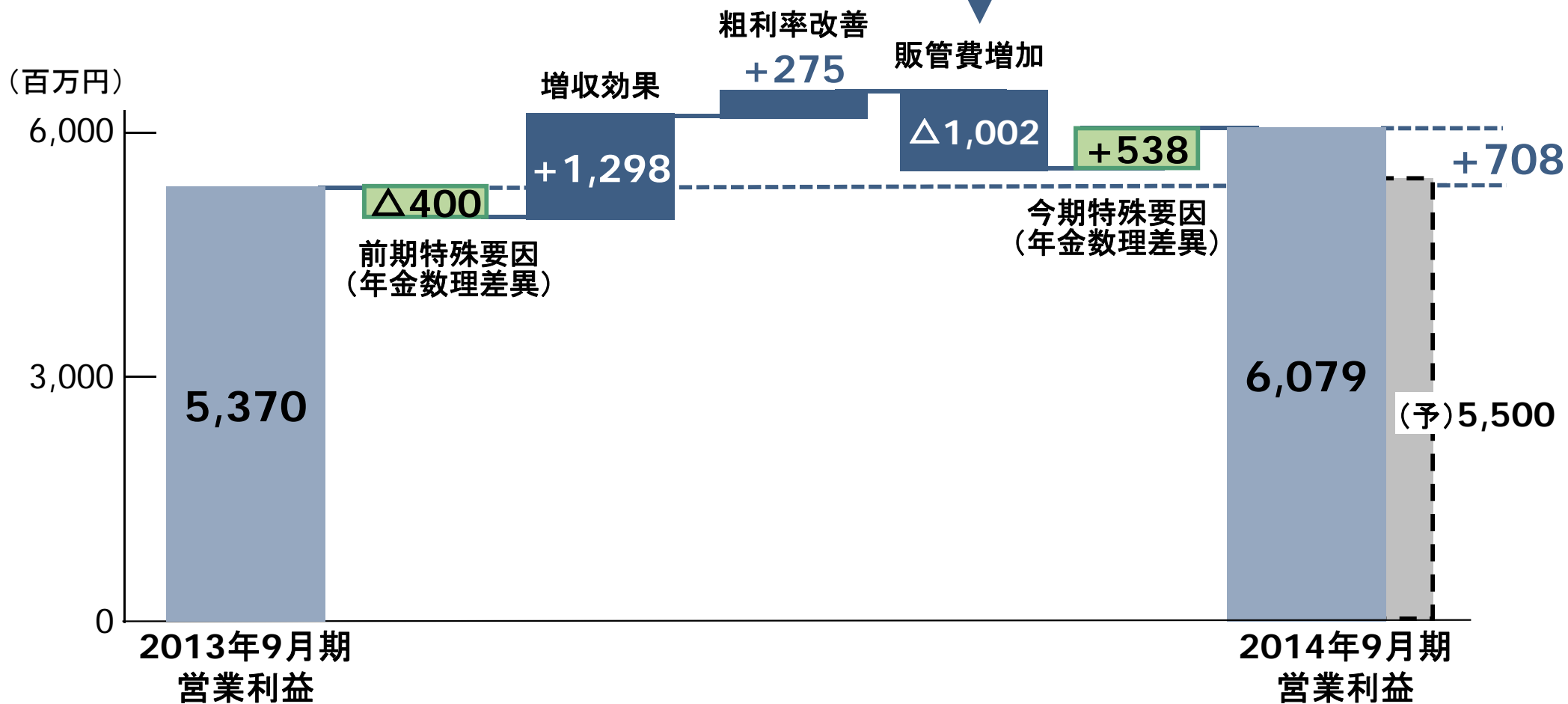
●売上高の顧客業種別内訳・対前期比増減理由

(百万円)

	前期	当期	増減額	増減率	増減理由
官公庁	17,940	20,762	+2,821	+15.7%	大型案件増加
金融・カード	36,694	41,106	+4,411	+12.0%	金融業向けシステム開発、アウトソーシングサービスの売上増加
一般産業	26,492	25,532	△960	△3.6%	前期のシステム開発案件の反動減

営業利益の変動要因 <前期比>

- ✓ 新規大型ACT案件により外部流出経費増も高稼働、高採算のもと利益率改善
- ✓ グループ情報システム刷新に係るコスト増 476百万円
- ✓ 施策費用増(管理機能強化、情報発信等) 235百万円



2014年9月期連結決算

(百万円)

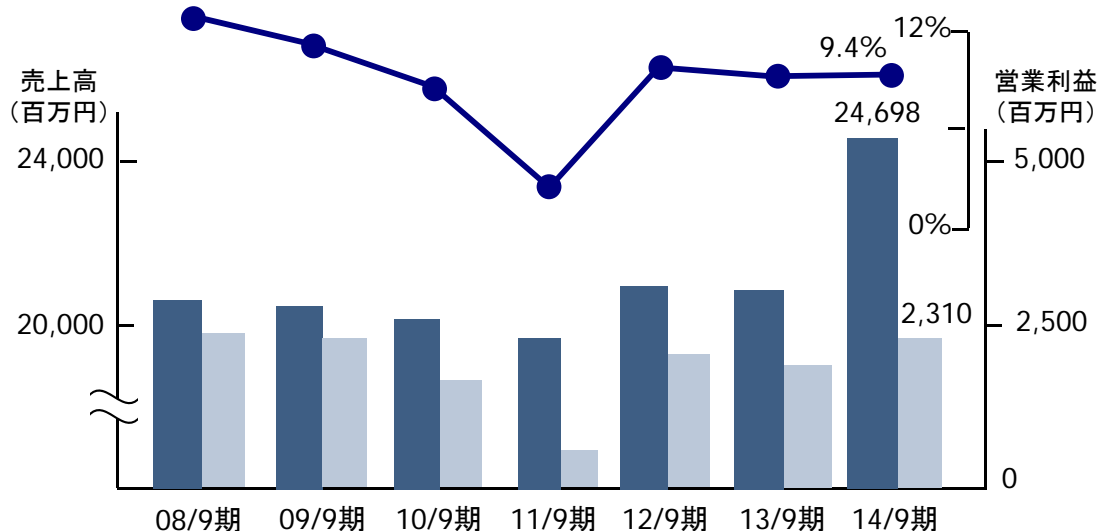
	13年9月期	14年9月期	前期比		公表予想値 (2013/10/31)	公表予想差
			増減額	増減率		
営業利益	5,370	6,079	+708	+13.2%	5,500	+579
営業外損益	195	363	+167	+85.7%	—	—
経常利益	5,566	6,442	+876	+15.7%	5,650	+792
特別損益	△47	△87	△40	—	—	—
税金等調整前当期純利益	5,518	6,354	+836	+15.2%	—	—
法人税等	2,199	2,512	+312	+14.2%	—	—
少数株主利益	434	436	+2	+0.7%	—	—
当期純利益	2,885	3,405	+520	+18.0%	2,940	+465
1株当たり当期純利益(円)	175.67	207.36	+31.69	+18.0%	179.01	+28.35

シンクタンク・コンサルティング事業

(百万円)

	2013年9月期	2014年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	21,038	24,698	+3,659	+17.4%
営業利益	1,961	2,310	+349	+17.8%
営業利益率	9.3%	9.4%	+0.1P	
受注高	24,424	26,528	+2,104	+8.6%
受注残高	18,668	20,499	+1,830	+9.8%

売上高・営業利益・営業利益率推移



主なポイント

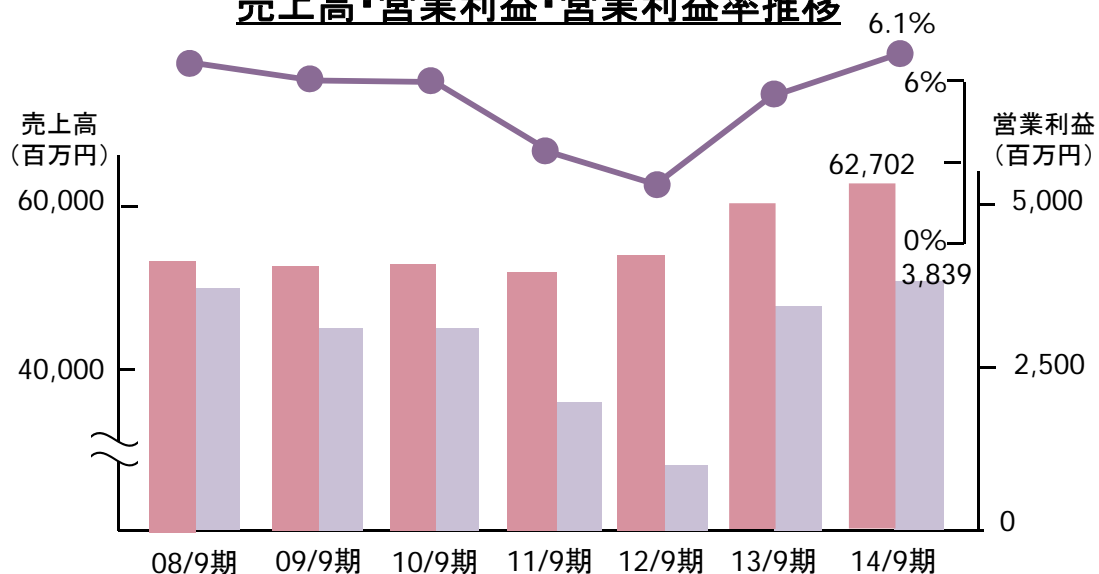
- 官公庁向け大型政策執行支援案件(震災復興、エネルギー関連)により増収
- 増収効果、稼働向上により、大型案件による原価増や販管費増をカバーして増益
- 受注順調。官公庁の発注早期化もあり出足良し

ITソリューション事業

(百万円)

	2013年9月期	2014年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	60,088	62,702	+2,613	+4.3%
営業利益	3,468	3,839	+371	+10.7%
営業利益率	5.8%	6.1%	+0.3P	
受注高	60,721	62,364	+1,642	+2.7%
受注残高	41,697	41,359	△337	△0.8%

売上高・営業利益・営業利益率推移



主なポイント

- 金融業向けシステム開発案件、アウトソーシングサービスの増加により、増収
- 増収効果、高採算案件により、販管費増加をカバーし、増益
- カード、その他金融機関向け案件受注増加も、メガバンク投資抑制により、受注残高前期比減少

1. 2014年9月期決算

2. 2015年9月期業績予想

2015年9月期 連結業績予想

売上高予想：900億円 前期比+26億円(+3.0%)

- シンクタンク・コンサルティングサービス：
2020年に向けて公共投資や政策再編が進展、官公庁市場堅調
- ITサービス：
上期メガバンク投資抑制影響も、下期再開。カードのシステム更新も見込む

経常利益予想：65億円 前期比+0.6億円(+0.9%)

- 成長に向けた先行投資を、増収効果と投資利益寄与でカバー
- 14年度の特殊要因除いた実力ベースでは1割増益計画

当期純利益予想：37億円 前期比+3億円(+8.6%)

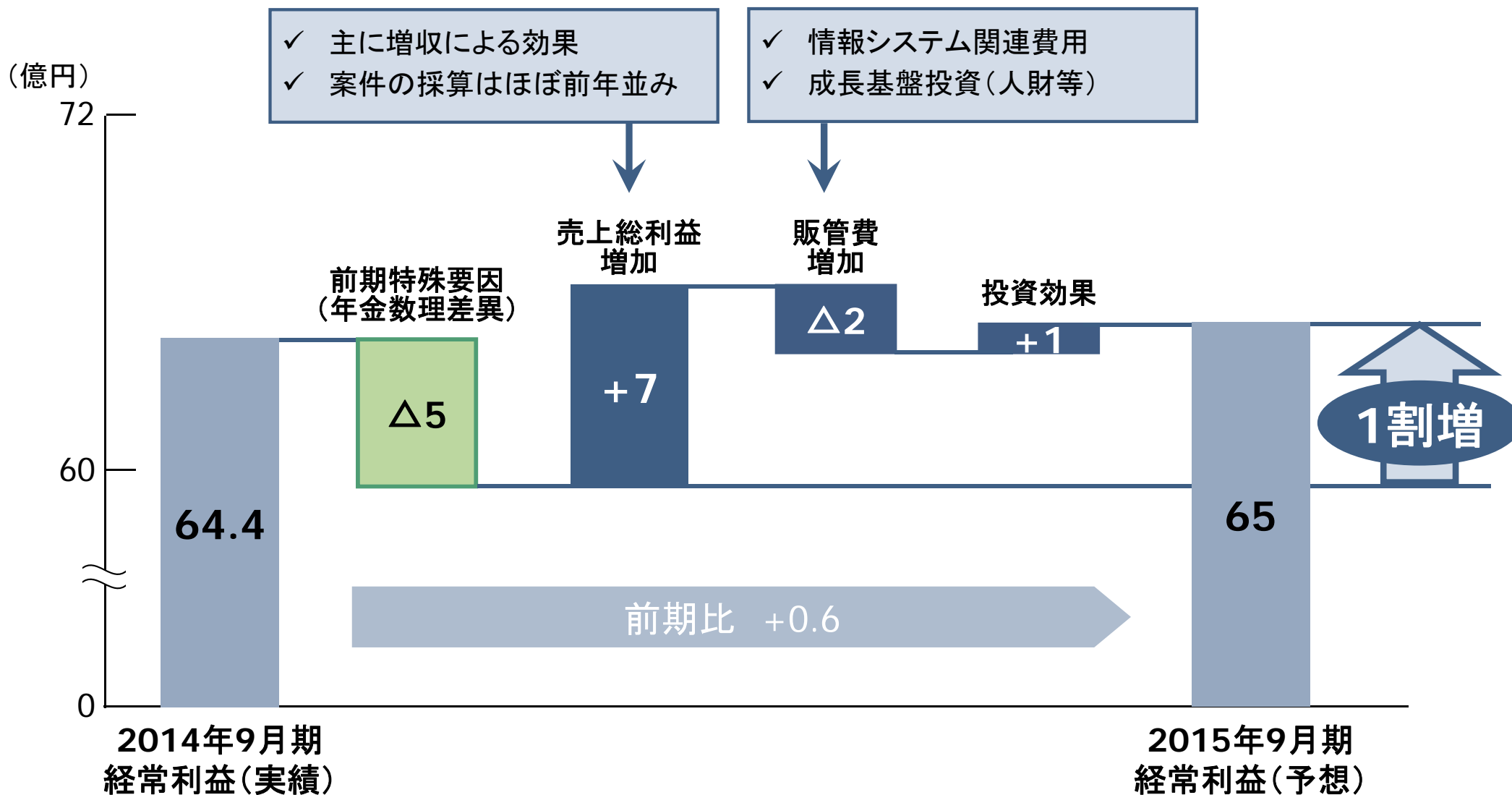
配当予想：50円(中間25円、期末25円) 前期比+5円

2015年9月期 連結業績予想

(百万円)

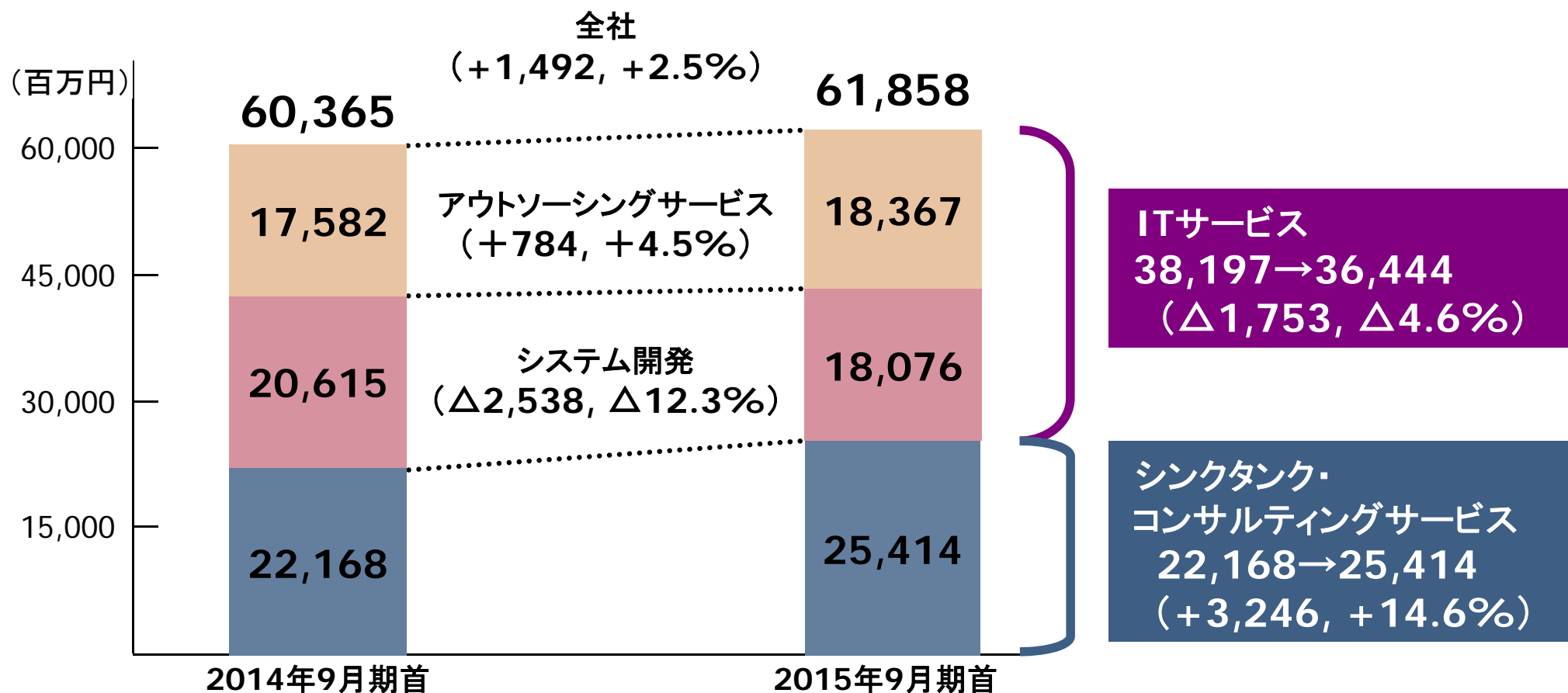
	2014年9月期 実績	2015年9月期 (予想)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	87,400	90,000	+2,599	+3.0%
シンクタンク・コンサルティングサービス	32,532	34,000	+1,467	+4.5%
ITサービス	54,867	56,000	+1,132	+2.1%
営業利益	6,079	6,100	+20	+0.3%
営業利益率	7.0%	6.8%	△0.2P	
経常利益	6,442	6,500	+57	+0.9%
当期純利益	3,405	3,700	+294	+8.6%
1株当たり当期純利益(円)	207.36	225.28	+17.92	+8.6%

経常利益予想 変動要因



期首受注残高(新セグメント区分)

メガバンク投資抑制影響も、官公庁積み上がり堅調で、前期比プラス



2015年9月期上期 連結業績予想

期首受注残高を反映しITサービスの出足鈍いが、下期挽回を狙う

	2014年9月期 上期実績	2015年9月期 上期(予想)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	42,211	40,200	△2,011	△4.8%
シンクタンク・コンサルティングサービス	13,898	13,700	△198	△1.4%
ITサービス	28,312	26,500	△1,812	△6.4%
営業利益	3,960	3,210	△750	△18.9%
営業利益率	9.4%	8.0%	△1.4P	
経常利益	4,061	3,340	△721	△17.8%
四半期純利益	2,106	1,850	△256	△12.2%
1株当たり四半期純利益(円)	128.23	112.64	△15.59	△12.2%

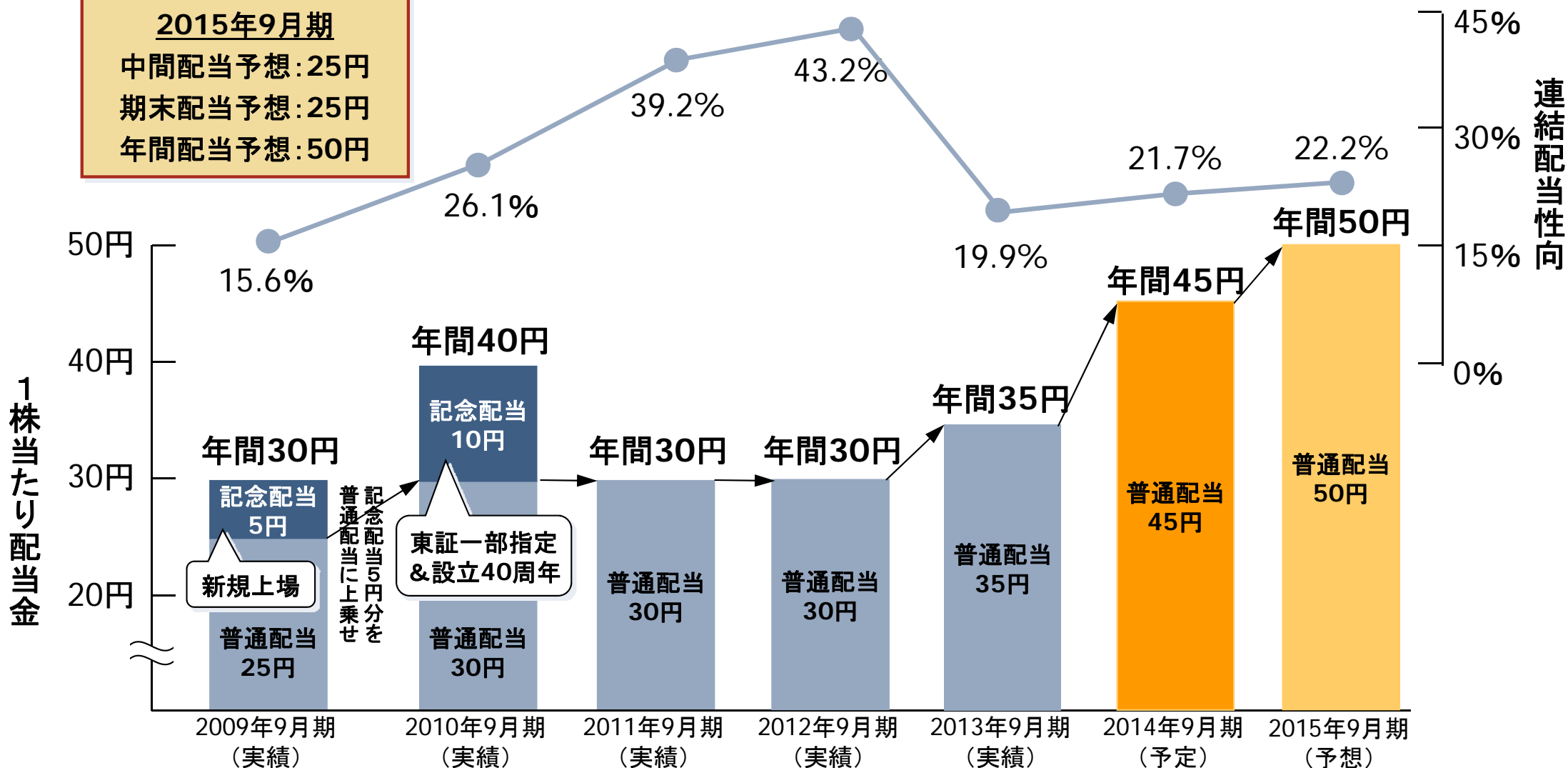
2015年9月期 配当予想

配当方針

安定的な配当を継続的に行いながら、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げを目指す

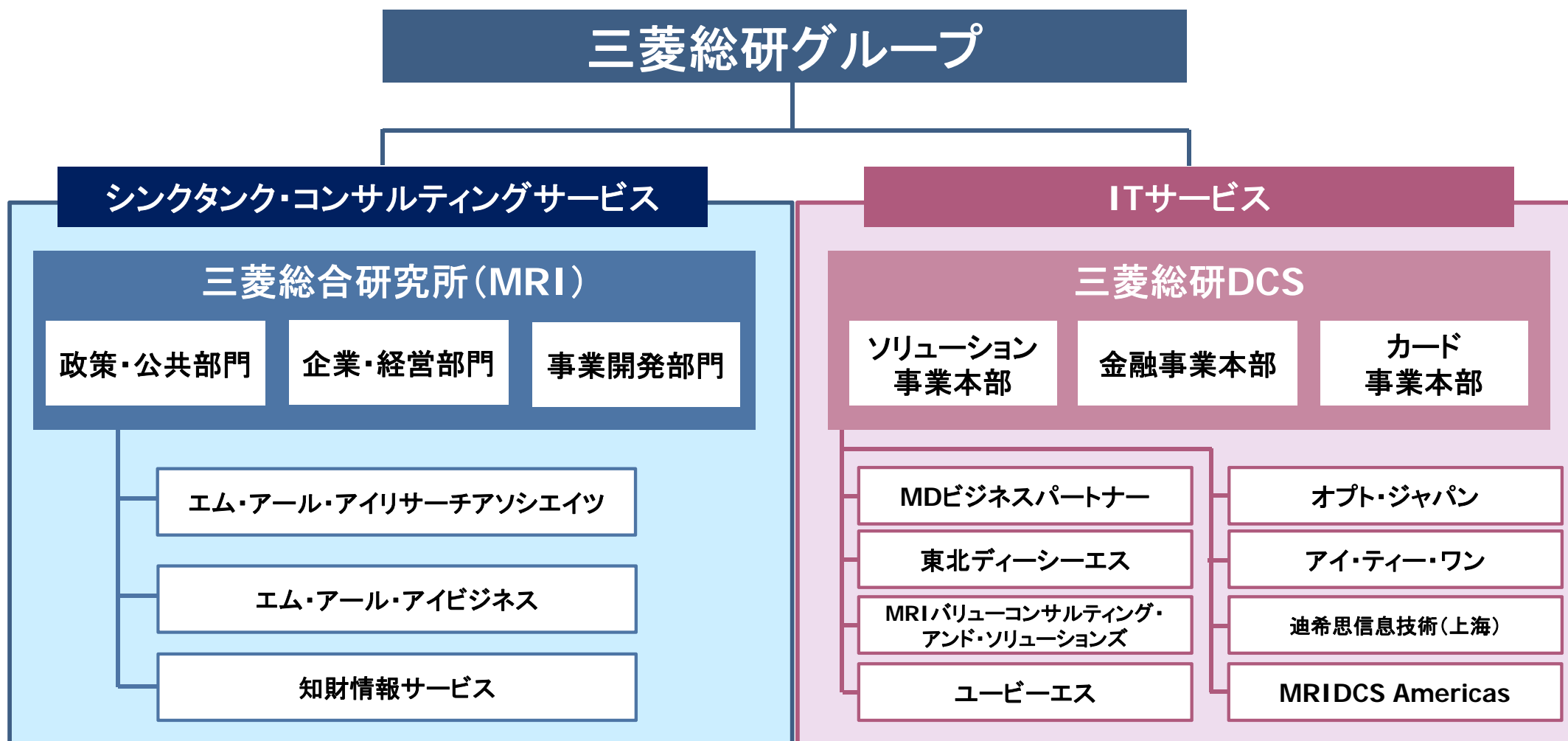
2015年9月期

中間配当予想: 25円
 期末配当予想: 25円
 年間配当予想: 50円



<参考> 民間事業拡大に向けた組織再編

機能別から顧客セグメント別に組織再編→セグメント区分を変更



将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経理財務部 IR室

TEL : 03-6705-6001
FAX : 03-5157-2171
E-mail : ir-info@mri.co.jp
URL : <http://www.mri.co.jp/>